

平成31年5月 市長定例記者会見の要旨

■ 議題

1. 新たなオフィス街へ 変わる西鉄久留米駅周辺

〔市長〕資料に基づき、概要説明（質疑なし）

2. 市政の動き

(1) 遊んだワンちゃんは年間1万7千匹超

〔市長〕資料に基づき、概要説明（質疑なし）

(2) 職場も年齢も違う若手職員が集結 WEBサイトを改善へ

〔市長〕資料に基づき、概要説明

〔若手職員代表職員2名〕概要説明

〔記者〕意見の反映は、いつからか。すでに改善されているのか。

〔広報担当参与〕これまでの1ヶ月間は、研究活動として進めてきた。今後は、各セクションとヒアリングを行いながら、アドバイスとして反映させていく。すでに、先行して、久留米シティプラザはHPの見直しに着手しており、観光コンベンション協会も新年度予算でHPのリニューアル予算を計上しているなど、上手にマッチングさせながら、よりよいHPにしていく。

〔市長〕HPなど、業者に丸投げすると、それ以上の良いものはできないと考えている。市の担当者が、細かくチェックする「ノウハウ」を、久留米市は持っているという基礎データになる。ITは、予算だけではなく、人・考え方・働き方が重要であり、久留米市ではそれができつつある。今回、重要なことは、部局を超えてやることで、IT社会に近いフラットな形で動けたことが、大きな改革の一步前進であると考えている。

3. その他

(1) 本当に住みやすい街大賞2019（福岡県）久留米市が8位

〔市長〕資料に基づき、概要説明（質疑なし）

～予定議題 終了～

〔防災担当部長〕5月10日早朝に発生した宮崎県沖地震の状況について、概要説明

【市長】4月の組織変更で、防災対策課が都市建設部から総務部へ移ったことで、これまでの水防中心のハード整備からソフト面にも対応できるようになった。災害に対応する姿勢が変わったことを、ぜひ感じてほしい。(質疑なし)

【記者】4月の定例記者会見の「学校会計に係る第三者の外部検証委員会」はその後の進捗はどうなっているのか。

【市長】現在、第三者委員会を立ち上げるところで動いている。大石弁護士を委員長とし、進めていく。外部の目を入れることがきわめて重要であり、慎重に進めていく。